

令和4年10月31日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第380号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 11月3日（木・祝）豊洲公園に本物の牛がやってくる！
2. 「グリーンな栽培体系実践セミナー」を開催いたします
3. あなたのサステナブルな取組を世界中に伝えます！
4. 農研機構果樹品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きの一部変更について
5. 49歳以下の就農希望者を新たに雇用する農業法人や個人経営者を応援します！（「雇用就農資金」の募集開始）

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 11月3日（木・祝）豊洲公園に本物の牛がやってくる！】

全国の酪農家等による組織、地域交流牧場全国連絡会（交牧連）は、「酪農家自らが消費者に対して、酪農家の熱意や思い、酪農の現状、牛乳の素晴らしさを伝え、酪農や牛乳のファンになっていただきたい！」という思いから、11月3日（木・祝）に豊洲公園にて、消費者交流イベント「わくわくモーモー牧場～豊洲に牛がやってくる～」を開催します。

当日は会場の豊洲公園に本物の乳牛と全国の酪農家が集まります。来場者の皆様には、東京の中心でさまざまなコンテンツを通じて酪農を体験していただきます。

酪農の知識や情勢に関するパネル、酪農家の仕事道具やエサなどを展示。触る・臭いを嗅ぐなど、体験型中心の酪農クイズラリーを通じた酪農家との交流や、模型を活用した「模擬搾乳体験」を実施します。北海道・宮崎県の酪農家とオンラインでつながって牧場の様子を見学する「オンライン牧場体験」や、国産牛乳・乳製品の販売ブースを出店するとともに、「牛乳でスマイルプロジェクト」のPRも行います。

本イベントを通じて、日本酪農と国産牛乳・乳製品の素晴らしさを伝えます。

◇イベントの詳細はこちら（交牧連 HP）

<https://www.dairy-farm.jp/2022/10/20/r4-11-03-wakuwaku-momo-farm/>

◇お問い合わせ先

地域交流牧場全国連絡会事務局

TEL : 03-6688-9841

ホームページ : <https://www.dairy-farm.jp/>

【２．「グリーンな栽培体系実践セミナー」を開催いたします】

「グリーンな栽培体系」の取組を学ぶ実践セミナーを開催し、環境にやさしい栽培技術の講演とスマート農業技術の実演を行います。環境にやさしい栽培技術では、WEB サイト「日本土壌インベントリー」で利用できる土壌図や土壌管理アプリの活用や、土壌くん蒸剤の処理量低減化技術や代替技術である土壌還元消毒技術を紹介いたします。スマート農業技術では、軽労化や安全性の向上が期待できる電動リモコン草刈機や、高能率水田除草機と両正条植田植機を利用した除草作業の効率化技術について紹介します。

◇開催日時

令和４年 11 月 22 日（火） 13：00～16：40

◇内容

(1) 講演「窒素肥効や土壌有機物見える化のアプリを搭載したインベントリー土壌図」

農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 上級研究員 高田裕介 氏

(2) 講演「土壌くん蒸剤の低減化のための施用方法の高度化と低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒の普及拡大に向けて」

農研機構 農業環境研究部門 化学物質リスク研究領域 上級研究員 小原裕三 氏

(3) 実演「電動リモコン草刈機「スマモ」のご紹介」

農研機構 農業機械研究部門 無人化農作業研究領域 グループ長補佐 栗原英治 氏

(4) 実演「高能率水田除草機と両正条植田植機を利用した有機水稻栽培に役立つ水田除草技術について」

農研機構 農業機械研究部門 無人化農作業研究領域 グループ長 吉田隆延 氏

◇参加申込方法

参加を希望される場合は、事前のお申込みが必要です。

下記の URL からサイトにアクセスし、必要項目を記入しお申込みください。

URL : https://hubs.ly/Q01lx_YZ0

◇詳しくはこちら（農林水産省 HP）

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/jisedai_senryaku.html

◇お問い合わせ先

農林水産省農産局技術普及課（担当； 湊上、池田、道端）

TEL : 03-3501-3769 (直通)

【3. あなたのサステナブルな取組を世界中に伝えます！】

「サステナアワード」で、食と農林水産業に関わるサステナブルな取組に関する動画を募集しています。

優秀な作品は、ホームページや農林水産省、消費者庁、環境省の様々なイベント等で発信します。農林水産大臣賞を受賞した作品等の特に優秀な作品は、英語版を作成し、国際会議の場などで海外にも広く発信します。

ふるってご応募ください。

◇応募〆切

令和4年11月30日(水)(必着)

◇応募テーマ

食と農林水産業に関する、持続可能な消費(例：見た目重視より持続性重視)、環境との調和、脱炭素、生物多様性、資源循環などのサステナブルな取組。

◇詳しくはこちら(農林水産省 HP)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/sa2022.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ(担当；古田、五十嵐、笠原、佐野、諸江)

TEL : 03-6744-2016 (直通)

FAX : 03-3591-6640

【4. 農研機構果樹品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きの一部変更について】

～農研機構からのお知らせです～

農研機構が育成した果樹の登録品種及び出願中品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きについて、これまでの許諾の実績や現場の声をふまえて、果樹農業者等にとって一層申請しやすい仕組みとなるよう、手続きの一部変更を行うこととしました。

<変更点>

(1) Web での申請・問い合わせが困難な方に対応するため、許諾手続きに関する専用電話相談を

開設しました

(2) 少数の接ぎ木等を行う果樹農業者に対応するため、個人での許諾申請の本数単位を 100 本単位から、50 本単位に引下げました

(3) 年度をまたいで接ぎ木等を行う果樹農業者に対応するため、これまでの「許諾した日から次の 3 月 31 日まで」から「許諾した日から 1 年後の同月末日まで」に変更しました

令和 4 年 10 月 11 日に下記の当機構 HP において公表致しましたのでお知らせ致します。

農業者の皆様におかれましては、果樹品種での自家用の栽培向け増殖を行う際には、農研機構 HP 内の許諾申請フォームより、申請いただきますようお願い致します。

◇詳しくはこちら（農研機構 HP）

<https://www.naro.go.jp/collab/breed/permission/index.html>

◇お問い合わせ先

農研機構知的財産部育成者権管理課

農研機構 HP メールフォーム：<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/hinshu>

専用電話相談窓口：070-7362-5276（平日 10 時～17 時）

【5. 49 歳以下の就農希望者を新たに雇用する農業法人や個人経営者を応援します！（「雇用就農資金」の募集開始）】

令和 5 年 2 月支援開始分の募集（本年度最後です）を令和 4 年 10 月 26 日（水）から 12 月 1 日（木）まで行っています。皆様からの申請をお待ちしています。

[今回募集を行う事業の概要]

1. 雇用就農者育成・独立支援タイプ

農業法人等が就農希望者を新たに雇用して、農業就業や独立就農に必要な技術・経営ノウハウを習得させるための研修を実施する場合に助成します。

＜助成額＞

年間最大 60 万円を最長 4 年間支援。新規雇用就農者が障がい者、生活困窮者、刑務所出所者等の場合は年間 15 万円加算

2. 新法人設立支援タイプ

農業法人等が新たな農業法人を設立して独立就農することを目指す就農希望者を新たに雇用し、独立就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための研修を実施する場合に助成します。

＜助成額＞

年間最大 120 万円を最長 4 年間支援。ただし、3 年目以降は年間最大 60 万円。新規雇用就農者が障がい者、生活困窮者、刑務所出所者等の場合は年間 15 万円加算

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

